夕刊
磐城新聞
二月二十五日發行
定價 一ヶ月金五拾錢
發行所 磐城新聞合社
(日曜祭日翌日休刊)
振替東京一〇八五六五番

新興……文藝の三要素

下

藤井生

その『面白さ』を分析してみると、三つの性質が出て來た

民族性と大衆性と背景の偉大性とである

この三つの性質は僕等の常々要求してゐるところのものである。芥川賞の三作を詳しく論ずることは、その『野人』に譲つておいて、こゝではしないが、要するに、今度の日本文化を、日本思想を、日本藝術を作る根本基礎は是非ともこの三性質を必要とするのである

この三つのものを、がつちりと組合せてその上に新興藝術としての新様式を與へるそれである。芥川賞は、いはゆる純文學畑の製造品ではあるがしかし民族性、大衆性、背景の偉大性がある事によつて、それはいはゆる大衆文學の畑の作物であるといへるのである

更らに深く大きく廣く、この三要素を進めたなれば、芥介賞の三作は、いはゆる大衆文學でもなく純文學でない立派な永久性を有つ、歐米の文學のレベルに入れる作品にまで成れるであらう

その三作家に、その素質は相當するやうである

しかし、純文學の先導―それは新時代に鈍感な新思想に無智な文學が、それの大成を遮ぎつてしまふかも知れない。だが、それにしても偶然にしろ芥川賞の三作に揃つて新しい三つの要素が示されたことは、大いに祝福され、深く注意されなくてはならない

夢

岡崎セツ子

みかんのふるさと
山賤の家に
老いませる
母をおとなう
うれしさは

薺ぼつち

吉田紫子

ほおけの夢と
醉めてはかなき
せとの杉むら

薺ぼつちつづき
逃げんでよいぞ
雀どち

私は薺ぼつち
つけにきた

寒鴉

珠靈　小野務平

立春猶見雪鎖霏
懶性依爐晝鎖扉
莫是寒鴉來嘲我
啞々來去隔窗飛

2月26日

△楠正成の立籠る千早城に賊軍押寄す(元弘三)△織田信長近江の常樂寺で相撲を見る(永祿一三)△室鳩巣(明暦四)△間宮林藏(弘化二)△品川彌二郎(明治三三)生る△△イスパニヤ船日本訪問に失敗す(一、五三七)△ナポレオン一世エルバ島を脱出す(一、八一五)

新刊紹介

△村に闘ふもの、野口明德著

村に行くも都に行くも闘は絶えぬ。今や社會は闘爭だ、これに光を與ふるものは著者の一貫せる苦闘の體驗だ理論は花だ體驗は實だと考へさせらるゝ無盡藏の含蓄に富む生きた記錄。自由だ、ファッショだ、極左だ、極右だ、危險思想だと、これ等の思想が根抵から覆させらるゝ氣持がする、本書に依つて各々の體驗を再檢討せよ(定價金二圓、東京市神田區須田町二丁目三ノ二体驗ノ日本社)

磐城歌壇推薦歌

新妻久滿男選

高嶋　巍

○水乏しき鉢を外の面に出して寂し夜半にしたしき雨の音かな

○終日を降りしく雨に爐邊去らず錢瓶のたぎる音にしたしむ

○わが宿の梅咲きしより朝寒をつとめて起きてまづぞ眺むる

○五日過ぎて組閣は成らず綿雪の朝より降りて心くらしも

○幼な心われにかへりつ詠める歌の選歌に入りし夢見たりけり

今迄の歌の中で最もよく整理されたものである。第一首『寂し』は下句とぴつたりしない。第三首の結句『まづぞながむる』もこう直した詞であらう。

挨拶偶語

悅夫生

上

『人生の意義』なるものは、それを考へる人々に依つて異る。恰かもそれらの人々の生活が異つてゐるやうに而も、結局その生活が大同小異である如く、その人生觀も大同小異だ

○

『寂光土』とは、『虚無』の世界の別名である

○

考ふれば考ふるほど、神は遠くなる。考へずにゐる時の方が神は我々の近くにゐる。神は即ち虚無だ。あるが如くにして無く、無きが如くにしてある

○

『生れざりせばなば』。これこそ人間として最も深刻な、而して最も我儘な歎きである

○

人間の空想には限りがない。そこに發展の喜びと悲劇がある

○

影が無いのが死の世界だ。生きてゐるものにはみな影がある

○

『猫に小劍』などといふ、警抜な比喩を作り出すのが人間である。悲しくとも、人間たる特質がそこにある

○

『歌人はゐながらにして名所を知る』――この言葉、昔は歌人への諧詞だつたが今では皮肉だ。ロマンチシズムからリアリズムの大きな轉回――

○

人生とは、蕪を剝くやうなものだ。皮を一枚づつ剝いてゆくと最後には何も殘らない。だから、人生はつひに空しい。併し一枚づつ剝いてゆくところ――、そこに意義があるとも云ひ得るし、亦そこに意義を求めることも出來るそんなものだ!

講談　妖刀流轉(えうたうるてん)

(22)　邑井貞吉演　佐々木今朝吉畫

權次の最期(十四)

權次が挨拶をすると、多勢をかきわけて出て來たのが、世話好きな男と見えまして

○『そうですかい、了念さんもまあ可哀想に、とうとう可けませんでしたかねえ、おさんもお身よりとあら前ば、嘸かし御力落しで御座いませう、私は今月の長屋の月番、これから家主さんにも話しまして、何とか及ばずながら始末をいたしませう、皆さんも何卒お願み申しますよ』

こういふ事には馴れた人もゐるもので、何うにかこうにか始末をはじめる、權次も掛り合だから跡を頼んで逃げ出す事も出來ない、一緒になつてまご／＼してゐる中に、ひよいと隅を見るとぼろ／＼風呂敷へ包んだものがある、外から見た形狀では、何うやら瓶のようだ

扨は金を隱して置いたといふのは、この瓶の事か、あゝは云つても、まだいくらか入つてゐるのでは有るまいかと氣がついたから、權次がその瓶を隣の方へ持つて行き、他人の氣がつかないよう、風呂敷をといて見ると、瓶の蓋にはぴつたりと紙で目貼りがしてありますが、恐ろしい嚴重にしてあると思ひながら、目貼りを挘つて蓋をあけると、覗いて見たが金は穴あきの錢一文入つてはゐない、錢は入つてゐなかつたが、何やら白い物が瓶の底にある

何だらうと手を突つ込んだ權次が

『權おう痛え』

と吃驚した

見ると突つ込んだ手の指先から血が吹出してゐる。

何だらうと今度は用心をして瓶を逆さに致し、搖すぶるとばらりと落た

見るとこれが白紙で切ぬいた人形で女の形になつてゐる、その人形の紙へブツリ／＼と數十本の針が無殘に刺し貫いてあるのは、いふ迄もなく呪ひの調伏だ

權次は流石にギヨつとしたが、人形には何やら文字が記してある、これが女の名前らしい、とう／＼伯父の了念は死ぬ迄先方の女の名を云はなかつたが、あれ程迄に口惜しがつた女の名前、了念を欺した上に怨み死をさせ、女は元より連れ添ふ良夫や情夫まで祟らないで置かうかと恨ませた女の何處の何といふ女かと般若の權次も氣になりますから、恐る／＼人形の紙を取上げ、そつと明るい方へすかして讀んで見ると、了念が拙い手蹟で書付けてあるその文字は

『板橋の夜叉女、憎い怨めしい信濃屋お紋』

と記してある

あつと驚いた般若の權次今まで怖い恐ろしいといふ事を知らなかつた亂暴者だが、この時ばかりは總から寒くなつて生れて始めて恐怖を覺ね、ぞつとして全身をブル／＼とふるはせた

これは震えも驚きもする筈で、如何に何でも伯父の了念を、それ迄に欺した當の敵が、昨夜も密會した自分の情婦、板橋のお紋とは氣がつかなかつた

廻る因果とはこの事か而も伯父了念が恐ろしい最後の言葉に、この女の亭主から色男まできつと呪つて取殺すといつた、その凄い聲がまだ耳の底に殘つてゐる位、色男といへば自分もその一人だ、あの執念では何とも知れないと、こう考へると權次の奴、居ても立つても堪まりません、亂暴な奴だが一時に弱つ氣になつて了つた

それは／＼ビク／＼と何も手につかないが、取込み最中だから長屋の者には氣がつかない、權次は一人でガタ／＼震へてゐた

株ハ一株ヨリ、債券ハ一枚カラ賣買致シマス。
友部株式店
平町三丁目
電話一七七番

廣告
おでんで茶めし
小鳥で一平(イッパイ)
電話二六三番

安齋外科醫院
平町田町
電四七五番

松村醫院
院長 松村鐵郎
平町南町電一〇七

平町田町
井坂產科婦人科醫院
電話五五九番

恐るべき中風、腦溢血を速治せしむ
アイヨー錠
血壓を下げ、血管若返り、中風を全治し、早老及老衰を豫防す。
中風の原因は血管の硬化にあり血管硬化すれば血壓高まり精神的並に肉體的に退行現象を生じ所謂老年病を誘發し或は中風腦溢血を突發す。
アイヨー錠の應用は血管に若返り現象を與へ老衰の進行を緩徐ならしめ初老及中老期に隨伴する總ての不快症を除去し中風を豫防す。
動脈硬化症、高血壓症、初老期に於ける體力及精力減退、中風、腦溢血の豫防に常用すべき貴重藥
百四十四錠(八日分)貳圓　四百八十六錠(廿七日分)六圓
千八百錠(百日分)貳拾圓
專賣店 山野邊藥局 平町五丁目(電呼六六八)

銘木(床ノ間材)
天井板、ベニヤ板買ふなら
確かに御期待に添ふ良品廉價の
织田材木商店へ
福島縣平町 電話平四六〇番
營業種目
建築木材一式
銘木・ベニヤ板
秋田産杉四分板
建具材・便利瓦
一變せる勉强振りを、ぜひ一度お試を乞ふ

入院隨意(自炊の便あり)
外科專門
X光線科
平南町
上田醫院
病室完備
(電話一二九)

◎日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社石油特約店
關彰商店平支店
電話六一番
本店 水戸線下館驛前
茨城縣土浦町田宿(電話五五・三三九番)
營業種目
石油、揮發油、輕油、重油、マシン油、モビール油、機械油類、植物油、胡麻油
種油、タール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ
支店所在地
(電話六五三)
常磐線關本驛前(電話八二四)
常磐線四倉驛前(電話平潟五四)
久慈濱支店(電話四八)
小名濱支店(電話一三七番)
海上給油所及油槽所(江名濱、六津、平潟)

產婦人科
外科
藥局
院長 木村寅次郎
醫學博士 內本宗八
藥劑師 大岩俊雄
入院隨意
病室完備
平町新川町十九番地
木村病院
電話一六四番

諸機械製作販賣
合名會社 田邊製作所
平白銀町(驛前通)
電話二九四番
機械切各種齒車製作

互融會事業近況
事業報告
(昭和拾貳年自一月一日至一月卅一日)
會員數 六、一四二口
世帶數 四、一六四戸
積立金 五九、九四五、六八錢
融通口數 一、三二二口
融通金額 八〇、一六三、一三
融通金回收額 一九、五四八、五〇
一、社會公共事業及慈善事業ヘノ奉仕
一、精神修養講話會
一、會員ノ吉凶慶弔
一、會員相互見舞
一、人事相談及婚姻ノ媒介
一、診療救血ノ補償
一、稅金ノ代納事務取扱
一、會報發刊
一、勤儉日積立金ノ獎勵
一、小資本金ノ相互融通
太平火災海上保險株式會社平中央代理店
石城中小商工互融會
事務所 福島縣平町揉槌小路一番地
小名濱方部 小名濱町古港
湯本方部 湯本町天王崎
菊田方部
相双支部 原町東一番町

電話三番
モーター附九ミリ半が
39圓で買へる
ボニイ
モーター附撮影機
F3.5— 39.00
F2.9— 58.00
お電話下されば機械持參店員が説明申上ます。
(平町二丁目)
西村屋藥局

今冬の流行物
澤山入荷致しました……
洋服は高島屋
注文並に既製品
高島屋洋服店
平町二丁目電話三八六番

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
內務省指定
福島縣代用精神病院
郡山腦病院
郡山驛より約三十丁 安積中學より約五丁
郡山市外大槻村鈴蔭
電話九二五番
入院隨時
院長 醫學士 金森五郎

吉田眼科醫院
醫學士 吉田久雄
平町紺屋町 電話六八番

優秀な性能を持して國家的試驗台に起つ

平署齋藤司法主任 愛飼の軍犬候補

前線の花形

職掌上の應用意慾から軍用犬の研究家として同好者に知られてゐる平署司法主任齋藤警部補は一昨年七月生後二ケ月のセパート種一頭を購入し爾來熱心訓練を續け來つたが更に本格的に發成すべく過般來千葉縣下の某專門家に依囑中最近の進境目ざましいものがあり愈よ來月七日東京に於て帝國軍用犬協會の軍犬候補試驗を受くる事と成つたが直接指導者の觀測では合格稍確實と見られる迄優良な成績で更に同犬の性能は二ケ月位の高級訓練により現在數頭を數ふるのみの防衛犬たらしむるの自信もあるらしく此程この通牒に接した所有者齋藤警部補は是非そこ迄漕ぎつけ度いと意氣込んで居り、完成後犯人の檢擧に方り、足跡追及及び搜索等之が應用振りを刮目されてゐる、因に前記試驗に通過後は夫々登錄の上有事の際に徵發さるる場合があるものであると

關西廻り團体

◇平驛で募集

平驛では目下新春山陽四國關西廻り團体四百名を募集してゐる、來る三月十一日出發二十日歸着、費用概算四十四圓十六錢、行程大要左の如し

(第二日)嚴島著泊 (第三日)嚴島神社參拜後汽船で四國高濱上陸電車によつて道後溫泉 (第四日)道後溫泉出發松山附近見物後琴平金比羅宮を參拜し高松に至る(第五日)栗林公園―屋島附近見物後德島に至り市內見物(第六日)德島出發小松島より汽船で大阪着市內見物(第七日)大阪出發京都市內見物(第八日)京都出發奈良市內見物の上山田に至る(第九日)伊勢神宮參拜特別大神樂奉奏後二見ヶ浦附近見物の上出發(第十日)早朝熱海着旅館で入浴朝食を濟ます

本縣人バンザイ

素朴さを認められて ―引つ張り凧―

東北人、取り分け本縣人は最近非常に受けがよくなつた――日立製作所からは屢報の如くドシドシ平紹介所に見習工の斡旋方を依賴し更に來月十日迄の締切りで海岸工場の見習工募集に大量となつてゐる處へ昨報の如く新に申込んで來た東京中央工業株式會社の工務員(今年中等學校卒業者六十名)も『本縣人に限る』との嚴しい條件つき、四家所長も

東北人は兎角遲鈍だと云はれるがその一面素朴な處が受けてゐるのだらう

と語つてゐる、正に本縣人バンザイ――と云ふ處だ

映畫 祐天上人

上映日割決る

平町高木喬氏年來の事業であつた映畫『祐天上人』は既報の如く愈よ完成左記日割で上映する事となつたが同映畫はサウンド版五卷である

三月十五日から三日間世界館 十八日久の濱 四倉 大浦 十九日內鄕 湯本 二十日小名濱 江名 豐間

跨線橋と乘降口增設

愈よ請願書提出に 町で兩院議員に依賴

平驛跨線橋延長並に北方乘降口增設計劃は町會で議決の上愈よ當局に請願書を提出する事となつたので町では今二十五日金成貴院、比佐、鈴木兩衆院の各議員に請願採擇方の依賴狀を出した

選擧騷ぎのない 鐵道代議士 選擧

愈よ來月十五日執行

『鐵道代議士』と稱されてゐる水戶運輸事務所管內の現業委員改選は來月十五日全管內に亘つて行はれる

平驛は定員三名でこれを平、赤井、小川鄕、綴、湯本の五驛から投票されこの外保線區二名、機關區三名、車掌、檢車、電力、通信からは各一名宛選任されるわけだが、目下の處で名乘りを上げてゐるものは一名もなく來月に入れば愈よ實戰氣分が出るだらうと云はれてゐる、この選擧は一般選擧法の圈外にあるので選擧も何もない至極明朗なものだと云ふ

比佐大尉へ滿洲國勳章

磐中敎授囑託

步兵大尉比佐國永氏は今般滿洲國皇帝陛下より勳章を贈られ二十五日町役場から傳達された

退職給與規程

平消防組では此程幹部會で組員の退職給與金規程を設定した

神谷新豫算

總額二萬五、六千

神谷村の豫算村會は昨二十四日午前九時より行つたが終了せず今二十五日も續行した、總額二萬五、六千圓で今年度に比し大差なく目新しいものはない

片濱貨物商業組合

出資額は一口廿圓

既報―湯本、江名、小名濱間のトラツク營業者二十七名が商業組合法に基いて結成した石城片濱貨物商業組合長は小名濱町長瀨陽平氏、出資一口二十圓第一回は五圓、今後の事業左の如し

(第一期)統制 共同仕入 修繕工場の經費 指導研究調査 表彰

(第二期)運賃共同集金 資金の貸付 貯金の受入

之も時勢の一反映か 小學教員の志望增加

縣師範二部募集總員八十名の處へ 磐中關係十七名合格

所謂義務教育延長案は今議會でこそ會期三分の二を過ぎた今日樞府を經たる上議會の審議を結了するの不可能なる事が明かとなつたので終に不提出と決定した樣であるが斯うした機運に在る事が旋て青年學徒の敎員志望を唆つたものか、近來中學卒業生の師範二部入りを望むもの少からず今年の如き磐中關係者のみにて一兩年來の卒業生及び在學生を併せ實に採用定員八十名の半數を占むる合計四十名の受驗者あり其の結果を刮目されてゐたが此程左記十七名の合格者が發表された

(第三十五回=十年卒業生) 戶田彥明 濱島泰 赤津四郎平

(第三十六回=十一年卒業) 根本義夫 市川英雄 新妻正 赤津徹 長谷川斉雄

(在校生) 長谷川敏 園部英明 鈴木四郎 松本廸男 根本榮 酒井健 下山田蒂 仁中正吉 新妻孝次

次に專攻科合格者左の如し

專攻科 江名藤川廣 赤井第一小林喜三郎 錦鵜沼忠晃 上遠野古澤定義 大浦永井田介 四倉佐藤定翁 樋貝遠藤源三 平第三遠藤秀夫

板垣若松兩將軍榮進

今次の異動と地方關係

今次行はれた國軍再建第一段階への陸軍部內中央要職全面的大更迭により茲に宇垣內閣組閣の際有力なる陸相候補視された關東軍參謀長板垣征四郞(軍神大越中佐の女婿)は第五師團(廣島)長に、亦過ぐる事變に於て全滿に勇名を馳せた騎兵監部付若松晴司騎兵大佐は旣報の通り愈々陸軍少將に進級騎兵第二旅團(千葉縣津田沼)長に補せられた

(若松少將略歷)赤井村平久田故若松秀藏氏の二男で今年五十四才。赤井第二小學校尋常科から平尋常高等小學校高等科を卒業(山崎清三、廣田磐中敎諭と同窓)大越中佐が仙臺陸軍地方幼年學校生徒監大尉時代之を慕つて受驗して合格し士官學校を經て見習士官として騎兵第二聯隊付となり少尉に任官して聯隊旗手たりし事あり、少佐時代第二師團參謀、中佐時代騎兵第二聯隊長として多門師團長の下に滿洲に奮戰して功四級金鵄勳章を受け後大佐に進級、騎兵實施學校付騎兵第十六聯隊(習志野)長騎兵監部付にて今日に至る

令兄は日露戰爭の際戰死す一丁目仙臺屋吳服店主人は義弟に當る、郡內にて陸軍少將は神谷村の西郡菊之助あるも少將に進級と共に豫備になつたので現役で旅團長たりし若松氏を以て嚆矢とする

平窪問題尖銳化

反對側六有志檢束さる

平窪村の一部に於ける平町との合併反對は依然續けられ、陳情團の出廬及び兒童の登校阻止問題に絡み昨夜來左記六名が平署に檢束され村民の神經を尖らせてゐる

下平窪消防第三部長小頭木田信一(四三)高田安治(五五)猪狩佐平(三八)矢吹喜一(三〇)矢吹敏夫(二四)上平窪國府田忠男(三九)

少年劍道 あす組合

來る二十八日平第三小學校で行はれる郡下兒童劍道大會の申込みは現在高等六校、尋常四校、明二十六日午前十時から平署で抽籤により組合せを決定する

惡水豫防組合解散

新川の縣費支辨編入で 平町外二村の目的達成

平町外二ケ村より成る惡水豫防組合は新川の縣費支辨川編入と共にはやその目的を達成したので過般來解散を前にして殘務整理を急いでゐたが愈よ去る二十二日附縣報で伊藤知事から同組合は二月十日之を廢止す旨の告示によつて組合では近く解散式を擧げ組合員に記念品を贈呈する筈

募集

少年工場員 二名

小學卒業程度のものにして町內居住者に限る、履歷書送付あれ、面會日通知す

本社

驛前廣場鋪裝

堀江工業に落札

平驛前廣場の鋪裝工事入札は昨二十四日午後から水戶運輸事務所で行つた結果三千六十圓で平町堀江工業會

未だ判らす

磐中生家出事件

『人生は不可解云々……』の遺書を遺つて謎の家出をした磐中四年生双葉郡久の濱町魚問屋善五郞次男木村元吉(一九)同田村郡上大越小學校長名倉末治次男弘(一八)兩名=旣報=の行方は引續き平署で各方面に手配してゐるが判明せず、植松少將の南洋視察談に感激してた處から或は海外に高飛びするのではないかと一縷の望みを抱き橫濱水上署に手配したがこれ亦『判明せず』の行方が判らないが自殺などはないだらうと關係者は語つてゐる

古物屋さんの眼力

見ん事泥的を見破る

內鄕村小島古物商松本高次郞さんは二十二日夜モーニング(價格三十圓)を賣り込みに來た四十男を怪しとにらみ直に平署に密告、捕へられた

山形縣鶴岡市荒町生れのルンペン白澤新八郞(四三)と云ひ果せるかな品物は去る十四日夜双葉郡龍田小學校敎員郡信雄方から失敬したものと判り取調べの結果翌十五日午前二時頃大浦村上仁井田改修見張所から永山菊見所有の洋(價格十餘圓)を搔つ拂つた事自白

義妹に挑まれて情交

曰くありげな婿殿の陳述 醜惡な內輪揉め表面化

安達郡和木澤村大字和田字西明田三一農根本兵司(五六)は婿養子の本郡湯本町三函一四一渡邊登方居住根本六郞(三五)を相手取り福島地方裁判所に離婚の訴訟を提起しその第二回口頭辯論は二十四日福島地方廷に開廷したが、原告の請求理由は安達郡和木澤村大字和田字喜多八四根本牛五郞五男六郞は大正十五年五月二十五日原告根本兵治の長女ミツイ(三五)と結婚し四男二女を生んだが素行治まらず昭和二年三月頃妻女ツミイ妹マスイ(當時十五歲高二年生)に對し暴行を加へ原告はマスイの將來を憂慮し他家に預け女學校に通學せしめてゐたが昭和五年四月ごろマスイの妹キミエ(當時十五歲高二年生)に同樣暴行を加へ、それ以來昭和九年九月頃まで同人と情交を續け姙娠させたので之が發覺をおそれ被告はキミイに言含めて現金四十圓を與へ家出させた外小松茂藤治、菅野一三氏所有の山林を二回に亙り盜伐した事實があるので兩者協議の上離緣狀作成に調印を求めたが被告は言を左右にしてこれに應せず十一年五月中妻子を引連れ無斷家出をなし湯本町に居住してゐるので原告は六人の娘が被告の毒牙の犧牲となるのをおそれて裁判沙汰となつたのである

之に對し被告はマスイ、キミエの兩人に暴行を働いたのではない挑まれたのである、養母が妻との同房を阻外したので挑まれるまゝにそれに應じたのである、山林伐採は亡父の命であると原告の申立てを全部非認した、判決は來月三日

老漁夫窒死

勿來町九面町五漁夫小松好樂(五九)は二十三日豐間沖航行中の漁船福壽丸船內で火鉢から發したガスで窒死

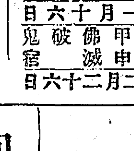
天氣豫報

(小名濱測候所發表)

今晚は北東の風曇小雨明日は北西の風天氣次第によくなる

二十六日(小名濱測候所發表)

滿潮 前五、〇五 後四、五〇 干潮 前一一、〇〇 後一一、二五



舊一月十六日 金曜 甲申 佛滅 破 鬼宿 新二月二十六日

諸判定總本部 東京市本鄕區湯島四丁目 高島易斷總本部 神誠館

▲一白 心志の動搖を防ぐべき日 金談はかうあるの兆▲二黑 意外の幸運に惠まる、日婚約金談起業皆吉▲三碧 奮起して功績擧り元氣益々加はる有望の日▲四綠 福利增進し名譽高まり地位向上する大吉日▲五黃 內事は差支なきも外事は注意せざれば失敗▲六白 萬全の策を立てし樣にても猶けつかんあるべし▲七赤 利慾にはせんより義理人情をかかぬが宜し▲八白 辛苦せし報の漸く現はれ來らんとする吉日▲九紫 諸事靜をんを保つべき日計畫事は他日にゆづれ

廣告

高久病院 院長 高久忠

向上の若人は佑賢に學べ

生徒募集

◎中等科(二年制) ▲目的―中堅公民養成
◎專修科(一年制) ▲目的―各種受驗難關突破
◎本年度より
○女子部獨立
○商業、簿記科新設
○受驗相互研究會特設
○敎授陣の擴充
◇各科無試驗入學許可

磐城佑賢學舍 平町城山 電話九三

內科 外科 一般 (入院隨意)
外科 花柳病科
平町六丁目(橋際)
木村外科醫院 電話三〇九

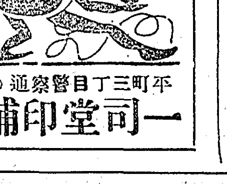
愈々公開近し

待望久しき名畫

淨土宗中興祖 祐天上人記

製作―祐天上人事蹟研究會
御後援―前文部大臣故松田源治閣下 福島縣知事伊藤武彥閣下 福島縣學務部長諸橋襄氏 淨土宗務所總務局 大本山芝增上寺

實印は 刻方に依つて 運の向く實印と 運を失ふ實印と になります 易者



平町三丁目警察通り 一司堂印舖

電話開通

皆樣のスタヂオ三光館へ電話開通いたしました、御寫眞の御用には何卒御利用願ます。

電話五四一番(ゴシイキ)

電氣採光の完全な設備もありますから晝夜撮影ニ出來ます出張撮影には是非御利用願ます。

平町役場隣り
鐵道省指定 各學校御用 三光館スタヂオ

職工募集

一、製罐工 五名
一、仕上工 五名
一、收入日給一圓以上二圓マデ(食費當方持)

右至急募集シマス、希望ノ方ハ當所マデ御出デ下サイ。

平町月見町 合資會社 佐藤鐵工所 電話平三六二